

## 単元名 文字の大きさ(漢字どうし)

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 漢字同士の形や大きさの違いを理解し、配列を整えて書くことができる。  
 (2) 様々な場面に適した書き方を考えることができる。  
 (3) 漢字同士の大きさに気を付けて書こうとしている。

## 標準的な展開例

05020201\_001

【教材名】レッツ・トライ 工場見学のメモ／『白雲』（毛筆）（P. 19～P. 23）

【準備等】メモをとる用紙，練習用紙（かご字のあるもの・ないもの），まとめ用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 様々な場面に適した書き方を話し合う。</p> <p>★目的に合った書く速さを考えよう</p> <p>○書く場面を想起する。</p> <p>○速く書く場面を考える。</p> <p>○メモを取るときに気を付けることを話し合う。</p> <p>○メモを取る練習をする。</p> <p>○自己評価をする。</p> <p>2～3 漢字同士の大きさに気を付けて、『白雲』を書く。</p> <p>★漢字同士の大きさに気を付けて書こう</p> <p>○毛筆で『白雲』を試し書きする。</p> <p>○教科書と試し書きとを比較して、配列の整え方を話し合う。</p> <p>○漢字同士の大きさに気を付けて、練習する。</p> <p>○『白雲』をまとめ書きして、自己評価・相互評価をする</p>	<p>・教科書P. 19の挿し絵も参考にしながら、手紙模造紙に書いて発表するときなど、日常生活で書く場面は多くあることを共通認識させる</p> <p>・ゆっくり書く場面と速く書く場面とに分け、本時では速く書く場合の書き方を学習することを伝える。</p> <p>・教科書はできるだけ見ずに、話し合わせる。</p> <p>【評】話し合いを通して、速く書く場面に適した書き方に対する「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教科書P. 20の吹き出しにある文を教師が読みメモを取る練習をさせる。</p> <p>・筆圧を軽くすると速く書けることを実感させたい。</p> <p>・再度、教師が吹き出しの文を読み、大事なことを落とさずに書けたかを確認させる。</p> <p>【評】メモを取る活動を通して、大事なことを落とさずに書く「知識・技能」を評価する。</p> <p>・筆順を確認してから、教科書は見ないで試し書きをさせる。</p> <p>・話し合った後、教科書P. 23「考えよう」を参考に気を付ける点を確認させる。</p> <p>・画数の少ない漢字を小さめに書くとつり合いがとれることを押さえる。</p> <p>・かご字のあるものとなないもの2種類の練習用紙を用意しておき、児童の実態に合わせて活用する。</p> <p>・中心や余白，書き始めの位置にも留意させる</p> <p>【評】教材の練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・隣席同士で教科書・試し書き・まとめ書きとを比較させ、互いの向上した点を見付けさせる。</p> <p>【評】まとめ書きを通して、漢字同士の大きさや配列に関する「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】